

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】夜久野町バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口 (人)	面積 (km ²)
		公表回	公表年月日				
8	2005.12.22			京都府	夜久野町	4,784	101.00
構想の要約		夜久野町地域における多様な資源の発掘、効率的で経済性の高い自治体経営、快適で豊かな地域社会の実現、地場産業の創出と雇用の確保、新しいエネルギーの利用による地域の活性化を目指し、農業集落排水汚泥や生ごみの堆肥化、家畜ふん尿等のメタンガス化、木質バイオマスの固形燃料化によるバイオマス地域利活用システムの構築を図る。 (2006年(平成18年)1月1日に福知山市に編入され、夜久野町域は福知山市夜久野町になった。)					
構想に盛り込まれた事業		堆肥化施設、メタン発酵施設、チップ・ペレット化施設、バイオマス高度利活用施設等から構成される複合施設として「バイオマス利活用施設(バイオマスセンター)」の設置を計画する。					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス				
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部		
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○	
廃食用油		果樹剪定枝	○	
水産加工残さ		竹材		
製材工場等残材	○	その他()		
建設発生木材	○			
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草				
古紙・廃棄紙				
下水汚泥など	○			
その他()				

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化		直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他()		炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.05.10	2005.12.22バイオマスタウン構想公表(JORA策定協力)

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマスの種類	賦存量(排出量)	変換・処理方法	仕向量	利用・販売	利用率
(廃棄物系バイオマス) 合計	15,030 t/年		14,050 t/年		約94%
農業集落排水汚泥	3,500 t/年	堆肥化	3,500 t/年 製品43 t/年	農地還元	100%
し尿浄化槽汚泥	1,600 t/年	堆肥化	1,600 t/年 製品19 t/年	農地還元	100%
食品廃棄物	70 t/年	堆肥化	70 t/年 製品7 t/年	農地還元	100%
牛糞	5,000 t/年	堆肥化/メタン発酵	4,500 t/年	農地還元/発電・熱供給	90%
豚糞	3,000 t/年	堆肥化/メタン発酵	2,700 t/年	農地還元/発電・熱供給	90%
鶏糞	1,500 t/年	堆肥化/メタン発酵	1,350 t/年	農地還元/発電・熱供給	90%
建設発生木材	300 t/年	ペレット化	270 t/年	発電・熱利用	90%
製材残材	60 t/年	チップ化	60 t/年	販売	100%
(未利用バイオマス) 合計	3,364 t/年		2,098 t/年		約59%
林地残材	1,500 t/年	チップ・ペレット化	1,350 t/年	発電・熱供給	90%
稲わら	1,600 t/年	堆肥化/メタン発酵	640 t/年	農地還元/発電・熱供給	40%
もみがら	260 t/年	堆肥化/メタン発酵	104 t/年	農地還元/発電・熱供給	40%
果樹剪定枝	4 t/年	堆肥化/メタン発酵	4 t/年	農地還元/発電・熱供給	100%
(資源作物)	—	—	—	—	—

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)